

あつぎ郷土博物館NEWS9月号

鋭意
準備中

企画展「記録されたあつぎの災害」展①

災害を予見する動植物

あつぎ郷土博物館では、10月4日(土)から11月30日(日)まで、災害をテーマにした企画展「記録されたあつぎの災害—地震・神鳴り・禍事・やまひ—」を開催いたします。

今回の展示では、恐ろしいものの代表格としてあげられてきた「地震・雷・火事・親父」になぞらえ、「地震・神鳴り・禍事・やまひ」に分類してあつぎを襲った災害の記録を紹介します。

天気の変化が大きく生活を左右していた時代、人々は自分たちが住む地域での自然現象や生物の活動などから、天気の変化を予知し、災害から自身の身を守る術としてきました。そして、その経験は伝承や俗信として後世へと継承されてきました。ナマズが暴れると地震が起きるなどは、最も有名な事例でしょう。確かに俗信や伝承の中には、科学的根拠に乏しく現代では迷信とされるものも数多くあります。では、なぜそれが生まれ、伝えられてきたのでしょうか。

展示会では、天気の変化に対して厚木市域内に伝承・俗信を持つ動植物を『皇和魚譜』や『本草図譜』、『和漢三才図会』など江戸時代に編さんされた図鑑から集め、厚木市内に伝わる天候予知に関する伝承、俗信を探しました。大山に雲がかかると雨が降るなどの日常生活に溶け込んだ経験則だけでなく、ナスのヘタにトゲがあると暴風が来るなど、その関連性が分かりにくいものまで、紹介し、考えてみます。10月4日からの展示を楽しみにお待ちください。



▲「茄 なすび」

(『本草図譜』文政11年(1828)・岩崎灌園)

あつぎ郷土博物館 9月の予定

日	曜日	行 事 内 容	講師等	時 間
友好都市展 「いとまんの文化と自然」 9月7日まで開催				
6	土	実習生によるギャラリートーク「厚木」 学芸員の卵たちが深掘りする厚木の魅力 !!	博物館実習生	14:00 ～15:00
11	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
18	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
23	火 祝	触察展示関連講座 点字名刺を作ろう！ <①②ともに先着10人。①②とも同じ内容>	福喜多恭子氏 (県視覚障害者福祉協会事務局)	①10:00～ ②11:00～
25	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
29	月	休 館 日		

コラム
毛利氏

毛利氏とあつぎの関係とは？ その②

毛利季光は、大江広元の四男として生まれました。広元から下毛利荘を相続して「毛利氏」を名乗り、「毛利氏の祖」となります。

鎌倉幕府3代将軍 源実朝に仕え、実朝が暗殺されると出家しました。承久3年(1221)に承久の乱が起きると、北条泰時に従い義父・三浦義村らとともに京都へ進軍し武功を挙げ、安芸国吉田荘(安芸高田市)を与えられました。宝治合戦では、当初、北条時頼方に味方するため出陣の準備をしていた季光ですが、三浦氏から嫁した妻に「若州(三浦泰村)を捨て、左親衛(北条時頼)の味方をすることは武士の致すところか」と説かれ、季光は三浦方に味方し、敗れ、法華堂(写真は国の史跡「法華堂跡」に建つ白旗神社。鎌倉市)で一族と自害しました。



- あつぎ郷土博物館 開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休 館 日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29～1/3)
- 古民家岸邸 開館時間 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休 館 日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/25～1/3



(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館
〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515
Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp FAX 046-246-3005